

ARFANEWS

発行所／スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会 〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3 広島大学大学院保健学研究科浦辺研究室 電話082-257-5405

■事業報告

平成18年度第1回講習会報告

平成18年度第1回講習会が5月14日にトライデントスポーツ健康科学専門学校（名古屋市）で開催されました。

本講習会では、日常のスポーツや医療現場で多くみられる「足関節捻挫」を取り上げ「足関節捻挫後の慢性症状とその対策」をテーマに掲げました。当日は209名という大変多くの方々にご参加いただきました。

遠山晴一先生（北海道大学病院スポーツ医学診療科）には「足関節内反捻挫～バイオメカニクスに基づく診断と治療～」と題してご講演いただきました。バイオメカニクスに関する多くの研究から、病態把握のための徒手検査について詳しくご説明いただき、さらに治療方法や予防策に至るまでをわかりやすくお話いただきました。

野村亜樹先生（医療法人社団昇英会はちすばクリニック）には「足関節捻挫の後遺症～治りにくくする要因とその対処方法～」と題してご講演いただきました。後遺症への対策として腫脹の管理、関節可動域の獲得や不安定性への対応、正しい動作の獲得が大切であり、その手法として特にテーピングと足底板について詳しくご説明いただきました。

パネルディスカッションでは「足関節捻挫のリハビリテーションを考える」と題して、4名のパネリストから、下記のような点を中心に話題提供をいただきました。

西田貴之先生（三菱メルコドルフィンズ）からはバスケットボール選手に対するステップドリル、濱野武彦（トライデントスポーツ健康科学専門学校）からはラグビー選手のコンタクトプレイを導入する際の注意点、宮村司先生（浜松医療学院）からは

サッカー選手に対するアジリティードリル、板倉尚子先生（日本女子体育大学健康管理センター）からはバレーボール選手に対するエクササイズやテーピングの方法について、ご提示いただきました。参加者の皆様からも多くの質問をいただき、活発なディスカッションが行われました。

定員の都合上、遠方からの参加者の皆様にはご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

最後にご講演いただいた講師の先生方、参加者の皆様、当日運営にご協力いただいた皆様、開催委員の皆様に心より御礼申し上げます。

平成18年度第1回講習会
開催委員長 濱野武彦（トライデントスポーツ健康科学専門学校）

平成18年度第1回講習会に参加して

平成18年5月14日トライデントスポーツ健康科学専門学校にて、平成18年度第1回講習会、テーマ『足関節捻挫後の慢性症状とその対策』が開催されました。

今回のテーマとなっている足関節捻挫後の慢性症状は、私も臨床で非常に多く遭遇し、症状・原因が多岐にわたり治療に難渋する事が多いため、大きな期待を抱いて参加させていただきました。

最初に北海道大学スポーツ医学診療科の遠山晴一先生による、講義1「足関節内反捻挫～バイオメカニクスに基づく診断と治療～」では、足関節内反捻挫の病態・診断・治療に加え予防についても、解剖学・バイオメカニクスといった観点から豊富なデータを交えて、わかりやすくご教授していただきました。

続いて医療法人社団昇英会はちすばクリニックの野村亜樹先生による講義2「足関節捻挫の後遺症～治りにくくする要因とその対処方法～」

では、特に足関節内反捻挫について受傷早期の腫脹処置の重要性、疼痛出現部位とその主要原因、内反不安定性に対する評価方法、テーピングを含めた具体的なリハビリテーションなど、より臨床に近い内容で野村先生の豊富な臨床経験をわかりやすくご教授していただきました。

最後のパネルディスカッション「足関節捻挫のリハビリテーションを考える」では、4つの競技種目のスポーツ現場での足関節捻挫に対する試みについてのご報告をしていただきました。「バスケットボール選手への試み」では三菱電機メルコドルフィンズの西田貴之先生に、映像を用いて、よりダイナミックなトレーニングメニューをご提示していただきました。「ラグビー選手への試み」ではトライデントスポーツ健康科学専門学校の濱野武彦先生に、足関節捻挫後の競技復帰へのリハビリテーション実施にあたっての注意点を、モールやラックといったラグビー特有のプレーも含めて、より具体的にご提示していただきました。「サッカー選手への試み」では浜松医療学院の宮村司先生に、ポジションによる特性や、必要とされる動作の特徴を意識したトレーニングをより具体的にご提示していただきました。「バレーボール選手への試み」では日本女子体育大学健康管理センターの板倉尚子先生に、バレーボールの特にスパイク時に求められる足関節の機能や動作に関して、テーピングを含めたリハビリテーションについてより具体的にご提示していただきました。

今回の講習会では、講義・ご提示された各先生方が臨床・スポーツ現場で実際に行っておられる評価・治療のより具体的な内容を一部ではあると思いますが、学ばせていただくことができ大変勉強になりました。



足関節内反捻挫の講演をする遠山晴一先生



足関節捻挫の後遺症について講演をする野村亜樹先生



活発な討論が行われたパネルディスカッション

今後も研修会・講習会・ワークショップに参加し、多くの先生方の考え方を学ぶと共によい刺激を受け、知識・技術の習得に努めて自己研鑽に励んでいきたいと思ひます。

最後になりましたが、お忙しい中企画・運営していただいたスタッフの皆様へ深く感謝いたします。

京都地域医療学際研究所附属病院
リハビリテーション科 相馬寛人

■今後の事業内容

第22回ワークショップ開催要項

下記の要項で、第22回ワークショップを開催いたします。

今回のワークショップは、テーマは「応急処置からスポーツ復帰まで」として、実際に、現場で行われている応急処置の方法を学び、スポーツ復帰までの筋力トレーニング方法を学ぶことを目的として、開催いたします。

これからスポーツ現場に出ようとしている人や、スポーツ選手に関わっていかうとする人に対し、選手への関わり方を学ぶ機会にしたいと考えております。

静岡県で初開催となりますが、多くの皆様の参加をお待ちしています。

日時：平成18年9月9日(土)・10日(日)
会場：渡辺病院 リハビリテーション室 (〒417-0045 静岡県富士市錦町1-4-23)

テーマ：「応急処置からスポーツ復帰まで」

内容：

9月9日(土)

13:30～ 受付開始

13:50～14:00 開講式

14:00～15:30 講義1「現場における応急処置の基本」小林良充(聖隷浜松病院)

15:40～17:10 実技1「現場で行われている応急処置—アイシング・テーピングの実際」増田雄一(リニアート)

17:20～18:50 実技2「患部外および全身のエクササイズ」浦辺幸夫(広島大学大学院) 懇親会

9月10日(日)

9:00～10:30 実技3「足関節捻挫後の筋力エクササイズの実際(下肢外傷後の筋力エクササイズの実際)」岡戸敦男((財)スポーツ医・科学研究所)

10:40～12:10 実技4「上肢外傷後の筋力エクササイズの実際(肩、肘関節を中心に)」尾崎勝博(野崎東病院)

12:10～13:10 昼食

13:10～14:40 実技5「効果的なウォームアップとクールダウン」横山茂樹(聖隷クリストファー大学)

14:50～15:00 閉講式

受講料：会員20,000円

非会員35,000円

定員：30名

申し込み方法：氏名、所属、連絡先(TEL、E-mail)連絡先住所を明記の上、E-mailかFAXにてご送付願ひます。なお会員の場合は会員番号も併せてお知らせ下さい。

申し込み受付を完了後、関係書類を送付します。

申し込み締め切り：8月31日(木)

◎問い合わせ・申し込み先

〒417-0045 静岡県富士市錦町1-4-23 渡辺病院 リハビリテーション科 第22回ワークショップ開催委員長 鈴木信幸

TEL.0545-51-3751

FAX.0545-51-1540

E-mail:suzushin@thn.ne.jp

第23回ワークショップ(鹿児島)

開催予定日：平成19年1月から2月を検討中

開催場所：鹿屋体育大学(鹿児島県)

開催委員長：加賀谷善教(鹿屋体育大学)

詳細は、今後のニュース・ホームページでご確認下さい。

■事務局からのお知らせ

平成18年度年会費納入について

年会費納入期限は7月31日となっております。年会費未納の方は平成18年度事業には参加できませんのでご注意ください。

◎年会費額：会員10,000円

学生会員5,000円

◎振込み口座

口座名：スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会

口座番号：00130-5-192201

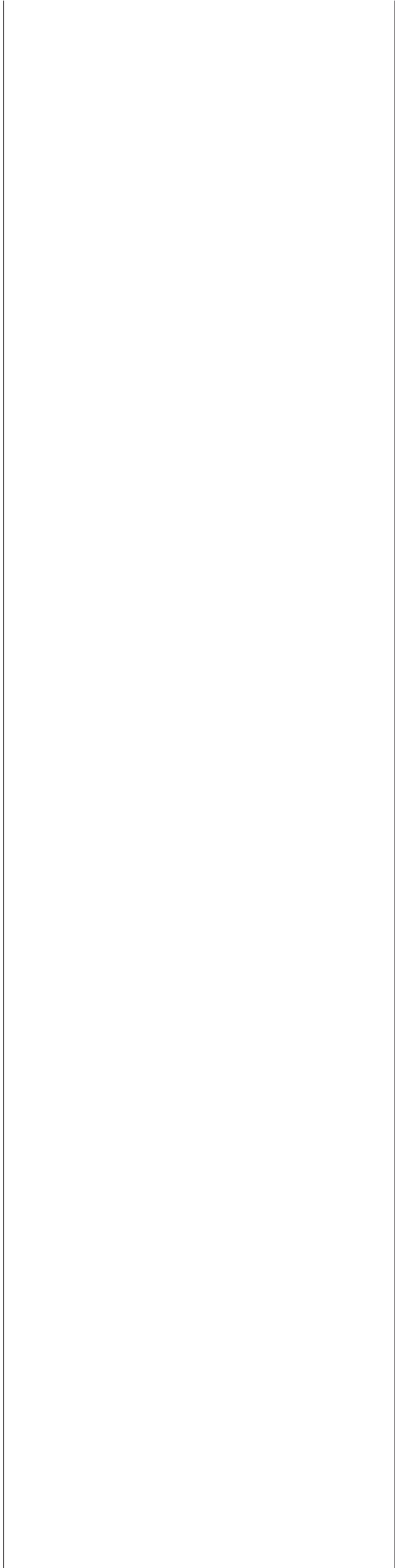
◎問い合わせ先

〒734-8551広島県広島市南区霞1-2-3 広島大学大学院保健学研究科浦辺研究室内

TEL&FAX 082-257-5405

E-mail: sporeha@hiroshima-u.ac.jp

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会事務局



スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
第23回研修会収支計算報告書
(平成17年11月26日・27日開催)

平成17年12月26日締

一般会計				
勘定項目	予算額	決算額	差異(△)	備考
I 収入の部	円	円	円	
参加費 会員	755,000	511,000	244,000	10,000円×50名(会員)、8,000円×1名(学生会員)、3,000円×1名(当日差額)
一般	215,000	253,000	△ 38,000	15,000円×14名(一般)、10,000円×4名(学生)、3,000円×1名(当日差額)
一日参加	100,000	182,500	△ 82,500	10,000円×18名(当日)、1日参加者懇親会費2,500円×1名
協賛費	140,000	140,000	0	10,000円×11社(賛助会員)、30,000円×1社(非賛助会員)
展示費 (企業展示)	680,000	470,000	210,000	150,000円×1社(賛助会員:2口)、80,000円×4社(賛助会員)
(書籍展示)	20,000	20,000	0	20,000円×1社(賛助会員)
広告費	250,000	190,000	60,000	50,000円×2社(1頁)、30,000円×3社(半頁)
雑収入	0	0	0	
事業収入合計 A	2,160,000	1,766,500	393,500	
事業費	100,000	100,000	0	
収入合計 B	2,260,000	1,866,500	393,500	

II 支出の部	円	円	円	
通信連絡費	100,000	65,560	34,440	切手代、郵送料
事務消耗費	5,000	1,329	3,671	用紙、コピー代
運営費	300,000	193,740	106,260	
会場費	650,000	758,700	△ 108,700	視聴覚機器借用料及び展示ブース費用を含む*1
講演費	620,000	426,880	193,120	*2
懇親会費	300,000	207,033	92,967	
人件費	100,000	18,000	82,000	受付・アナウンス係アルバイト
事務委託費	0	0	0	
資料作成費	15,000	5,250	9,750	リーフレット用紙
広告宣伝費	50,000	56,700	△ 6,700	ポスター印刷代
雑費	20,000	12,132	7,868	VTRテープ、振り込み手数料、他
事業支出合計 C	2,160,000	1,745,324	414,676	

差引差額 A-C	0	21,176	△ 21,176	
差引差額 B-C	100,000	121,176	△ 21,176	

*1：会場／岡山国際交流センター

*2：外部講師3名・外部パネリスト1名・内部パネリスト2名・座長7名

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
第21回ワークショップ（熊本） 収支計算報告書
（平成18年2月11～12日開催）

平成18年3月2日締

勘定項目	予算額	決算額	差異(△)	備考
I 収入の部	円	円	円	
参加費 会員	500,000	160,000	340,000	20,000円×8名
一般	175,000	770,000	△ 595,000	35,000円×22名
事業収入合計 A	675,000	930,000	△ 255,000	
事業費	20,000	20,000	0	
収入合計 B	695,000	950,000	△ 255,000	

II 支出の部	円	円	円	
通信連絡費	5,000	7,675	△ 2,675	切手代他
事務消耗費	5,000	0	5,000	
運営費	70,000	69,442	558	会議・当日弁当・お茶代他
会場費	20,000	24,000	△ 4,000	視聴覚機器借用料を含む*1
講演費	385,000	323,940	61,060	*2
懇親会費	105,000	122,500	△ 17,500	
人件費	40,000	43,200	△ 3,200	受付・接待アルバイト
資料作成費	35,000	18,090	16,910	ファイル、印刷代
教材費	5,000	0	5,000	
雑費	5,000	2,368	2,632	ビデオテープ他
事業支出合計 C	675,000	611,215	63,785	

差引差額 A-C	0	318,785	△ 318,785	
差引差額 B-C	20,000	338,785	△ 318,785	

*1：会場／熊本機能病院 大ホール

*2：内部講師6名 助手3名・司会1名

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
平成17年度第2回講習会収支計算報告書
（平成18年3月5日開催）

平成18年3月7日締

勘定項目	予算額	決算額	差異(△)	備考
I 収入の部	円	円	円	
参加費 会員	300,000	200,000	100,000	5,000円×40名
一般	70,000	126,000	△ 56,000	7,000円×18名
展示費	0	5,000	△ 5,000	5,000円×1社
事業収入合計 A	370,000	331,000	39,000	
事業費	5,000	0	5,000	
収入合計 B	375,000	331,000	44,000	

II 支出の部	円	円	円	
通信連絡費	5,000	3,000	2,000	電話他
事務消耗費	5,000	2,593	2,407	
運営費	60,000	64,480	△ 4,480	
会場費	45,000	45,400	△ 400	視聴覚機器借用料を含む*1
講演費	220,000	185,000	35,000	*2
人件費	20,000	19,200	800	受付・接待アルバイト
雑費	10,000	8,236	1,764	DVテープ他
事業支出合計 C	365,000	327,909	37,091	

差引差額 A-C	5,000	3,091	1,909	
差引差額 B-C	10,000	3,091	6,909	

*1：会場／東京体育館第1会議室

*2：外部講師2名・内部講師2名・座長4名

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
平成17年度収支計算報告書

平成18年3月31日締

一般会計				
勘定項目	平成17年度予算	平成17年度決算	差異(△)	備考
〈収入〉	円	円	円	
年会費 正会員	3,200,000	3,290,000	90,000	10,000円×329名
年会費 学生会員	50,000	25,000	△ 25,000	5,000円×5名
年会費 賛助会員	1,200,000	1,100,000	△ 100,000	50,000円×22口
入会金 新規会員	180,000	135,000	△ 45,000	3,000円×45名
雑収入	1,000	16	△ 984	
一般会計収入小計 A	4,631,000	4,550,016	80,984	
一般会計前年度繰越金	1,000,000	908,288	91,712	
一般会計収入合計 B	5,631,000	5,458,304	172,696	

〈支出〉	円	円	円	
通信連絡費	300,000	241,940	△ 58,060	ニュース発送(3回)、研修会誌発送他
事務消耗費	200,000	251,868	51,868	コピーメンテナンス料含む
会議費	800,000	848,972	48,972	第1・2・3・4回理事会他
役員行動費	50,000	36,500	△ 13,500	役員事業視察
人件費	600,000	195,600	△ 404,400	
備品費	0	0	0	
備品管理費	50,000	92,400	42,400	
会報作成費	360,000	330,251	△ 29,749	ARFA Vol.1・2・3
教材資料作成費	200,000	165,942	△ 34,058	第23回研修会誌作成費
雑費	21,000	81,188	60,188	
事務委託費	1,800,000	1,800,000	0	平成17年4月～平成18年3月
JAR制作費	0	0	0	
HP設営運営費	250,000	294,000	44,000	平成17年3月～平成18年2月
住所録作成積立費	0	0	0	
会誌作成積立費	0	50,000	50,000	
SR基金積立費	0	50,000	50,000	
一般会計支出小計 C	4,631,000	4,438,661	△ 192,339	

当期収支差額 A-C	0	111,355	111,355	
当期収支差額 B-C	1,000,000	1,019,643	19,643	

積立残高 住所録作成積立費 ¥416,092.-、会誌作成積立費 ¥370,288.-、事務局設営積立費 ¥2,227,302.-
SR基金積立費 ¥260,445.-、資料作成積立費 ¥719,455.-

事業会計				
勘定項目	平成17年度予算	平成17年度決算	差異(△)	備考
〈収入〉	円	円	円	
事業収入	4,890,000	5,052,500	162,500	*1
事業会計収入小計 D	4,890,000	5,052,500	162,500	
事業会計前年度繰越金	390,810	390,810	0	地方開催対策積立費を切替
事業会計収入合計 E	5,280,810	5,443,310	162,500	

〈支出〉	円	円	円	
事業支出	4,390,000	3,685,854	△ 704,146	*1
運営費	250,000	94,640	△ 155,360	
事業費	150,000	120,000	△ 30,000	*1
地方開催対策	50,000	0	△ 50,000	
地方開催対策積立費	50,000	1,000,000	950,000	
事業会計支出小計 F	4,890,000	4,900,494	10,494	

当期収支差額 D-F	0	152,006	△ 152,006	
当期収支差額 E-F	390,810	542,816	△ 152,006	

積立残高 地方開催対策積立費 ¥1,000,000.-

*1：第1回講習会(大阪)、第2回講習会(東京)、第20回ワークショップ(愛知)、第21回ワークショップ(熊本)、第23回研修会(岡山)

当期収入合計 A+D	9,521,000	9,602,516	81,516	
前年度繰越金合計	1,390,810	1,299,098	△ 91,712	
当期収入総計 B+E	10,911,810	10,901,614	△ 10,196	
当期支出合計 C+F	9,521,000	9,339,155	△ 181,845	
次期繰越金	1,390,810	1,562,459	171,649	